

経済センサス-基礎調査の今後のあり方の検討について

○ 本調査の今後の在り方についてどのような検討がなされているのか。

[回答]

- 1 . 経済センサス-基礎調査は、母集団情報を整備することを目的の一つとして、平成 21 年に実施するものであり、これは平成 18 年 3 月に取りまとめられた「経済センサスの枠組みについて」(経済センサス(仮称)に関する検討会決定)において、経済センサスの意義、目的の一つとして、統計精度の向上に資する母集団名簿の拡充を図ることとされたことを踏まえたものである。
また、平成 23 年調査の実施後についても、5 年周期で実施する調査の間に経済センサスの枠組みの中で母集団情報の整備のための調査を実施することとし、その内容も含めて母集団情報の整備の在り方について、各府省等の協力を得て総務省政策統括官室において、企画調整のための検討の場を設け、政府内調整を含め、合意形成を行うとされたところ。
- 2 . このため検討にあたっては、平成 18 年 5 月に総務省政策統括官室が設置した「経済センサス企画会議」において母集団情報整備 WG を設置し検討、また、現在、統計委員会の下に設置されている基本計画部会第 2 WG や第 4 WG において、母集団情報整備の中で経済センサスの果たす役割や経済センサスへの行政記録情報の活用方策などについても審議されているところ。